

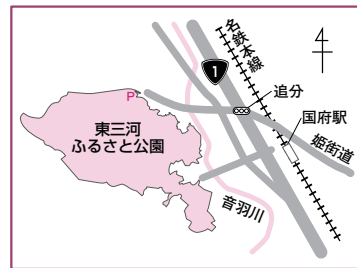


とよかわの

みつけた!



県営東三河ふるさと公園のシバザクラ



旧東海道の御油宿などの風景をテーマとした県営東三河ふるさと公園は、平成18年3月に開園しました。その後、平成21年には御津側がオープンし、施設の充実が図られました。公園の敷地は御油町、国府町、御津町の広範囲にわたり、標高194.4mの遠見山を有します。遠見山の山頂には「展望ツツシ園」があり、4月下旬頃からミツバツツシをはじめ、色とりどりのツツシが咲きます。園内では他にも季節によっていろいろな花が咲きますが、御油側の歩行者専用入り口のスロープ付近に、シバザクラが咲くのご存知でしょうか。

シバザクラは、平成19年頃から植えられ、現在は、その面積が約1,500平方mまで広がりました。花の形がサクラに似ていることなどからその名が付けられ、また、たくさんに枝分かれをしてシバのように地面を覆います。毎年4月中旬頃満開を迎え、傾斜地に淡い桃色、薄紫色、白色のきれいなじゅうたんを見せてくれます。

昨年のイノシシ被害で花の生育が心配されますが、春の草花に触れ、郷土の歴史を感じる機会として、ぜひお出掛けください。



昨年のシバザクラ